奈良市議会だより

No.118

〒630-8580
奈良市二条大路南一丁目１番１号
奈良市議会事務局 ☎(0742)34-4790
■発行／奈 良 市 議 会
■編集／奈良市議会広報広聴委員会

…… 議会報告会を開催します!! ……

議会は、平成25年３月定例会において「議会基本条例」を制定しています。
議会は、さらなる説明責任を果たし、市民参画を進めるために「議会報告会」を条例施行後、初めて開催します。
（詳しくは７面に掲載）

枝いっぱいに咲いた桜と浮見堂（高畑町）

３月定例会

４月から議員報酬額を減額

本市議会は、平成26年３月定例会を２月28日から３月20日までの21日間の会期で開きました。

今定例会では、議員より、議員の報酬額を減額する条例改正案と市の組織の改正に伴う市議会委員会条例の一部改正案が提出され、いずれも原案どおり可決しました。

平成26年度一般会計予算 原案可決

市長からは、26年度一般会計予算案を始めとする26年度関係議案37件と25年度関係議案27件が提出され、いずれも原案どおり可決または同意しました。

このほか、人事案件５件に同意し、市長専決処分の報告など13件の報告を受けました。

目　次

◆そこが知りたい 質疑・一般質問……2～5
◆平成26年度予算／予算決算委員会……6・7
◆議会の情報……6
◆第１回 議会報告会……7
◆議案等の審議結果とその賛否……8

議案や質問内容等、市議会ホームページで更に詳しくご覧いただけます。

VEGETABLE OIL INK 植物油インキで印刷しています。
再生紙を使用しています。

そこが知りたい 質疑・一般質問

3月5日から7日までの本会議では、21人の議員（うち代表質問5人）が質疑・一般質問を行いました。以下は、質問と答弁の要旨です。（発言順）

代表質問

活力ある地域づくりを 市東部地域の振興計画

自由民主党　東久保耕也

問　平成26年度予算案には東部地域に幅広く多くの事業が計上され、市長の意気込みを感じる。どの施策を柱に、活力ある地域づくりをするのか。

市長　農業分野では、6次産業化を進め、農産物のブランド化やネット販売を含めた販路拡大、地産地消の仕組み作り、直売所設置や加工場の機能強化などに努め、地元産の食材を生かした食の魅力についても調査・研究を進めたい。

観光分野では、新たな観光資源として、体験型の観光やアウトドアツーリズムについて積極的に検討を進めたい。

更に、再生可能エネルギーの生まれる場所として新たな価値を創出できないか、可能性を調査・研究をしている。

市民生活等への影響は 収支不足額の解消策

奈良未来の会　中西吉日出

問　平成26年度予算では、32億円の収支不足を解消するため、歳入面では、25年度と同様に不確定な土地売却収入が見込まれ、また歳出面では、職員の人件費削減や老春手帳優遇措置事業の大幅な削減などが行われる。

職員のモチベーションや市民生活への影響を危惧するが。

市長　収支不足の解消に向け、全ての事業について廃止も含めた事業手法の抜本的な見直しと新たな歳入確保策など、あらゆる面から検討を行った。

事業見直しに当たっては、これまでの進捗や実績、また効果などを見極めた上で、市民サービスの維持と課題解決の両方を勘案して、施策の転換を図った。

待機児童の更なる増加 保育士の確保策は

公明党　伊藤　剛

問　国の子ども・子育て会議で保育所入所要件の見直しが図られ、保育が利用しやすくなることは望ましいが、更に待機児童の増加も懸念され、人材確保が大きな課題となる。

保育士の人材確保策は。

市長　しみんだより、ホームページやハローワークで募集を行い、公立保育園に臨時保育士を追加配置することで可能な限り受け入れの増加を図っている。また、保育士の現場復帰を促進する研修会を開催するなど、潜在的な保育士の発掘にも努めたい。民間保育所では、保育士の平均勤続年数に応じた加算率により上乗せする保育士等処遇改善臨時特例事業が、平成25年度から国により取り組まれている。

もはや福祉制度ではない 老春手帳のカード化

日本共産党　松岡　克彦

問　平成26年10月、市がこれまで福祉制度としてきた老春手帳をポイントカードにする。公衆浴場を利用するため何回もボランティアしなければならないなら、福祉とは言えない。元の制度に戻すべきでは。

市長　高齢者のポイントカードは、公衆浴場が月1回無料で利用できる機能と、市主催の健康増進や介護予防事業の参加者にポイントを付与することで、外出のきっかけとすることを目的としている。

市の人口の5人に1人に近い70歳以上の市民が、最後まで健康で、生きがいややりがい、居場所を持って地域で暮らすことができる制度を作ることが、これからの新しい福祉だと考える。

ICT教育の推進で期待される学力の向上

改革新政会　階戸　幸一

問　学校教育現場での情報通信技術（ICT）の活用は、教師と生徒間のコミュニケーションを容易にし、生徒の主体的な学習意欲、思考力、判断力の向上に有効とされている。市の取り組み状況は。

タブレット端末を用いたICT教育

教育長　平成25年度に市教育ICT戦略会議を設置し、学識経験者の助言の下、学校教

育での活用について調査・研究を進めている。

26年度は、公立小・中学校にモデル校を設置し、総合的な実証研究を行い、ＩＣＴ機器を単なる道具として利用するだけではなく、子ども同士が学び合うツールとして有効活用し、教員自らも積極的に授業の改善を行い、研究を進める中で効果の検証を行う予定である。

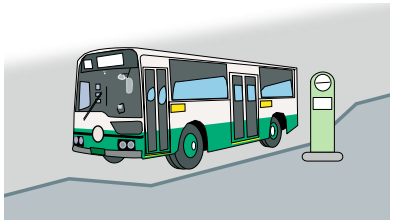
個人質問

（仮称）古市町南バス停設置の進捗状況は

自由民主党　植村　佳史

問　ここ数年、国道169号線古市南交差点周辺には、商業施設が多数出店しているが、バス停がなく大変不便である。更に住宅の増加や近隣からの買い物客増加のほかに、買い物難民対策が必要なことも判明している。

８年前から出屋敷町自治会の悲願である、（仮称）古市町南バス停新設の進捗状況は。



都市整備部長　バス停の新設については、以前から県、市及びバス事業者に対して要望がある。

先日、県に確認したところ、平成26年度に、バスベイ（※）も含め、歩道整備の測量・設計に着手する予定との回答を得ている。

※**バスベイ**…歩道に切り込みを入れた、バスが停車するためのスペース

土砂災害時の避難方法は

奈良未来の会　道端　孝治

問　帝塚山地区の土砂災害警戒区域内には、多数の住宅と富雄第三幼稚園及び黒谷公園がある。想定では、公園後方の山が崩れるとあるが、住民や幼稚園児等の避難方法は。

危機管理監　土砂災害警戒情報が発表され、土砂災害警戒区域で災害の恐れや兆候が見られる場合、市が避難準備情報、避難勧告等を発令する。

住民等は、自治会や自主防災・防犯組織、地元消防団の協力の下での避難になるので、平素からの避難訓練が必要である。

帝塚山地区では、直近の一次避難所である富雄第三小中学校も含めた安全な場所へ避難することとなる。

土砂災害時に安全な避難を（富雄第三幼稚園）

未来を見据えた目標は

老春手帳ポイント制度化

公明党　森岡　弘之

問　従来の高齢者支援から、現在と未来を見据えた見直しとするポイントカード制度の導入に際して、その未来の姿はどのようなものか、市として、当面の目標が明確でなければならない。

70歳以上の高齢者によるポイント活用の割合をどの程度にしていきたいのか。

保健福祉部長　ポイントを活用する高齢者の割合は具体的にはまだ把握はできていないが、平成26年度は10月からの半年間で、健康ウォークを３回で延べ２４０人、介護予防教室等には３千人参加してもらえるよう計画している。

今後、より多くの方に利用してもらえるよう取り組んでいきたい。

青山地区の買い物難民市は積極的取り組みを

日本共産党　北村　拓哉

問　青山地区のスーパーマーケットの突然の閉店で、買い物難民が生まれる。市は、敷地を所有する㈱関西文化学術研究都市センターに影響力を持つ株主であり、主体的・積極的な取り組みを求めるが。

福井副市長　平成26年2月末、学研都市センターから、青山地区のＡコープは近年売り上げが落ち、協力しながら営業を続けてきたが、売上高や客数が当初の半分以下まで減少したので、営業継続は困難と判断したとの連絡を受けた。

しかし、地域住民の利便性の確保の観点から、後継のテナントを鋭意探しているとの報告も受けている。一日も早く、後継テナントを決定されるよう要請していきたい。

３月２２日閉店したＡコープ（青山４丁目）

人にやさしい歩道整備を

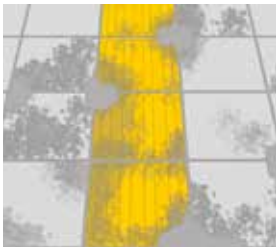
近鉄奈良駅の駅前広場

改革新政会　横井　雄一

問　近鉄奈良駅前広場は、多くの観光客を迎える市の玄関口の一つだが、市が管理している南側歩道は危険で劣悪な状況である。あらゆる人にやさしいまちづくりを目指す市にとって、この歩道整備は緊急の課題と考えるが。

建設部長　駅前広場とその周辺は整備から相当年月が経ち、経年劣化で歩道に段差などが見受けられ、誘導ブロックも

一部ですり減っている。
　これまで、その都度応急補修してきたが、全体的な改修も必要と考え、平成26年度から県と近畿日本鉄道と共に整備プランを検討していきたい。これには時間を要するため、危険箇所は暫定的な補修を行っていきたい。



子育て世帯へ支援を 市営住宅の空き家募集

無所属　酒井　孝江

問　市営住宅で、今回新たに、低所得で住宅に困窮する、小さい子どものいる世帯を対象に募集枠を設定したと聞くが、その内容は。

建設部長　従来から、市営住宅の空き家募集では、特定目的枠を設定している。平成26年度からは、この枠に新たに子育て世帯向け住宅を加えようとしていて、その改修工事の経費を予算に計上している。
　これにより、低所得者で住宅に困窮している、小さい子どものいる子育て世帯に、住宅施策の面からも応援できると考える。なお、戸数については、26年度に20戸程度を予定している。

早期発注で遅滞なく 学校施設の整備工事

自由民主党　山本　憲宥

問　春日中学校給食室建設事業において、当初の想定以上の構造物が地下に埋設していたことで、工期の延長を余儀なくされた。
　今後、工事の年度繰り越しを起こさないように、どのような対策を考えているか。

完成が急がれる給食室（春日中学校）

建設部長　設計業務委託と建設工事を同一年度で行ってきたが、平成25年度のように不測の原因で工事が遅れることや、東日本大震災復興の影響による建設資材や技術者の不足により、工程が思うように進まないことも懸念される。
　26年度に実施する5校を含め、校舎の改修事業や耐震補強工事においても、資材調達などの期間が確保できるよう、可能な限り早い時期に建設工事を発注したい。

一般企業へ就労の道を 障がい者の雇用状況

奈良未来の会　鍵田美智子

問　市では、障がい者がまち美化やリサイクル事業に協力しているが、行財政改革の中、コスト見直しが行われた。
　障がい者は一般企業へ就労する道が険しいが、市内における障がい者の雇用状況は。

観光経済部長　障害者の雇用の促進等に関する法律で、事業主は一定以上の割合で障がい者を雇用する義務があり、民間企業では2％である。
　市では特に報告を求めていないが、奈良労働局によると、県内民間企業の障害者の実雇用率は2・22％。全国3位で、全国平均を常に上回っていて、障がい者雇用への民間企業の取り組みは一定の成果を上げていると考える。

公共施設の照明 LED化への取り組み

公明党　九里　雄二

問　市の省エネ政策については、街路灯だけでなく公共施設の照明も含め計画的に進めていく必要があると考えるが。

館内の照明がＬＥＤ化された市写真美術館

市長　市内にある街路灯及び公共施設におけるＬＥＤ化による電気代の削減、温室効果ガスの削減は、非常に重要と認識している。現在、街路灯のＬＥＤ化は一部着手しているが、まだ残る部分が多数ある。また、公共施設等においても優先順位をつけ、年次計画の中で予算の範囲内で出来るところから対応している。
　今後は、市内の公共施設の照明の設置状況等をより詳細に調査を行い、街路灯を含めた公共施設全体のＬＥＤ化の整備方針を策定して計画的に進めていきたい。

東部への移住希望者に 空き家バンクの導入を

日本共産党　小川　正一

問　東部地域振興策として、山間地域に移住し、田舎暮らしや地域のまちづくりをしたいと願う人に対し、空き家バンクなどの住宅確保の考えは。

市長　住宅確保策として空き家を活用する制度は、現実的な方策だと考える。今後、東部地域でも空き家の増加が予測されるので、所有者の意向も含め、それらの提供条件とニーズとをマッチングさせる仕組みである空き家バンクは、非常に大きな可能性を秘めている。
　先進自治体の事例なども調査・研究しながら、空き家バンクの具体化に向けて検討を行っていきたい。

職員のやりがい向上で よりよい市民サービスを

改革新政会　内藤　智司

問　平成26年度予算でも、歳

出抑制の筆頭に市職員の人件費があるが、職員が市民サービスを提供していくためには、やりがいを持って働ける環境づくりが重要と考える。将来を見据えた考えを聞きたい。

市長　市の大変厳しい財政状況の中、職員給与だけを聖域にはできず、26年度も給与カットを継続したい。一方、給与カットが当たり前となっていることも問題で、27年度で通算10年となるため、28年度は見送る考えを持っている。

　給与以外にも、人事評価制度の改善やメンタルヘルス対策等あらゆる観点からモチベーションの高い組織運営につなげたい。

増加する生活保護受給者労働力としての活用は

無所属　柿本　元気

問　生活保護費の増大が日本中の自治体で問題になっている。仕事をしたくても職がないため、生活保護を受けざるを得ないという若年層に対して、市が事業を立ち上げ、労働を支給するという新しい発想を取り入れることは可能か。

市長　就労を希望していてもなかなか仕事自体が足りないこともあるが、生活保護受給者のみに対して市が仕事を用意することは、そこに働く人が保護受給者とわかるため、プライバシーの面で難しい。

　一方で、民間事業者がより雇用を生み出すという意味で緊急雇用創出事業等、国の制度も有るため、その中で工夫していけるのではと考える。

リニア中間駅設置の誘致に市長自らトップセールスを

自由民主党　八尾　俊宏

問　リニア中間駅設置の誘致は情報収集や誘致活動が重要である。市長自身がＪＲ東海や国に何度出かけ、要望してきたか。

市長　ＪＲ東海はリニアに関して、一切の情報は発表しない方針とのことだが、諦めずに粘り強く交渉することが必要であり、私自らの行動として、更に力を入れていかなければならないと考える。

　また、国土交通省を始め、政府に対する働きかけについても十分ではない。担当部局や副市長が誘致活動に行っているが、まだまだやれることはあると思うので、粉骨砕身、馬車馬のように頑張っていきたい。

市での展開はクラウドファンディング

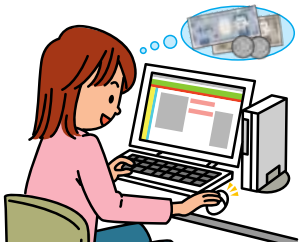
公明党　山中　益敏

問　手軽に行える社会貢献の仕組みとして、インターネットで小口資金を募るクラウドファンディングがある。

　市ではどのような展開ができると考えるか。

市長　クラウドファンディングは、様々な目的や分野ごとに市民が自分の意思で直接寄附をするもので、より幅広く、より小口の資金を集める手法として、最近非常に注目されている。

　市が税等で実施した事業を更に発展的に行う場合や、急な資金調達が必要となった場合など、活用はいろいろと考えられる。先進事例を研究しながら、今後、検討を進めたい。



肺炎球菌ワクチン接種公費助成の考えは

日本共産党　井上　昌弘

問　平成25年３月の予防接種法の改正に伴い、定期接種化が決まった肺炎球菌ワクチンの予防接種に対する公費助成についての考えは。

保健所長　肺炎球菌ワクチンは、26年１月15日の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会で、26年度の後半から定期接種化が決定された。

　肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌によって引き起こされる侵襲性肺炎球菌感染症（肺炎）の予防、重症化に効果があり、特に高齢者には有効なものと考える。

　ワクチン接種の公費助成については、法改正等、国の動向を注視し検討していきたい。

ＪＲ奈良駅西側の交通対策今後の整備計画は

無所属　松石　聖一

問　ＪＲ奈良駅西側には、当初の想定になかった大量の路線バスの乗り入れがあり、交通混雑を指摘し、モニュメントの移設等も求めてきた。

　平成26年度予算で整備費が計上されているが、その計画の内容は。

市長　観光バスの待機場所などに活用できるスペースの整備と、路線バスなどのスムーズな動線を確保するため、現在、東西２カ所ある交通島を全て撤去し、中央部分にある換気口の両端を一部撤去改良する計画である。

　26年度は、まず東側の交通島の一部と換気口部分を施工し、モニュメントは撤去する予定である。これらを整備しながら、警察及び関係機関と協議を進めていきたい。

撤去予定の交通島（ＪＲ奈良駅西側広場）

平成26年度予算

一般会計予算規模　2・1％増加
老春手帳入浴券は26年度中は延長

平成26年度予算について、市長は提案説明で、1期4年間で進めてきた業務の合理化、行財政改革、少子化対策などの各施策を次のステージへつなげる2期目最初の予算として編成した。景気の緩やかな回復基調の中にも依然として先行きが不透明な経済状況の中、自律した「未来の奈良市」を作り上げるため、「現在の奈良市」の状況を冷静に見つめ、徹底した財源の確保に努めるとともに、現状に即した施策に転換するなどの見直しにも取り組んだと述べました。

その結果、一般会計は総額1260億円と前年度に比べて2・1％の増加となっています。

また、市長は本会議閉会の挨拶において、議会の審議等の中で、老春手帳優遇措置事業における入浴補助制度の廃止について、議員等から多くの疑問が呈されたことを受け、激変緩和として、入浴補助券を4～9月は一月当たり10枚、10～翌3月は5枚配布し、27年度に廃止したいと述べました。

平成２６年度一般会計予算

	予算額（億円未満を四捨五入）	対前年度比（▲はマイナス）	市民1人当たり（4月1日現在、千円未満を四捨五入）
	1,260億円	2.1％	34万6千円
【歳入】			
市税	523億円	0.9％	14万4千円
（うち市民税）	（264億円	1.4％	7万2千円）
国庫支出金	228億円	6.4％	6万3千円
地方交付税	154億円	▲1.9％	4万2千円
市債	146億円	▲3.2％	4万円
その他	209億円		5万7千円
【歳出】			
民生費	532億円	6.5％	14万6千円
公債費	176億円	0.5％	4万8千円
総務費	143億円	▲3.1％	3万9千円
教育費	126億円	13.0％	3万5千円
衛生費	107億円	▲1.0％	3万円
土木費	91億円	▲16.0％	2万5千円
その他	85億円		2万3千円

議会の情報

議員報酬減額案を可決

議員報酬について、市の厳しい財政状況を踏まえ、これまでも自主的に減額してきましたが、報酬額そのものは平成10年10月の改定以来、15年が経過していました。

そこで、今定例会で減額する改正案が次の表のとおり議員提案され、原案どおり可決しました。

これを受け、4月分より報酬が減額となります。

役職	改正前	改正後
議長	83万円	73万3千円
副議長	69万5千円	64万4千円
議員	64万3千円	59万6千円

委員会条例の一部改正

平成26年4月に改まる市の行政組織に合わせ、市議会委員会条例の常任委員会の名称及び所管について、所要の改正を行う改正案が議員提案され、原案どおり可決しました。

名称変更となった委員会は次の表のとおりです。

改正前	改正後
観光文教水道委員会	観光文教委員会
建設委員会	建設企業委員会

人事案件

5件の人事案件について、全会一致で同意しました。

教育委員の任命
杉江　雅彦氏

固定資産評価審査委員の選任
田邊　章三氏

人権擁護委員の候補者の推薦
大西　義明氏
河野　良文氏
山出　哲史氏

請願

▽「横井町の山林」への新火葬場建設計画の白紙撤回を求める請願書

請願者＝奈良市紀寺町409－7
飛鳥地区自治連合会長
大西　昇氏　外9人

（市民環境委員会に付託）

予算決算委員会

予算に係る25議案と条例３議案は、予算決算委員会に付託しました。

委員会は、３月７日に資料を要求し、11日、12日、13日に５つの分科会で審査し、３月17日、各分科会委員長の報告を受け、市長に対する総括質疑を行った後、採決を行い、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

以下は、各分科会委員長報告の概要です。

観光文教水道分科会

- 奈良の食ブランド化戦略の新規事業の内容と展開
- 東部地区小・中学校のスクールバス予算と遠距離通学助成状況
- 水道局営業部門の民間委託
- 中学校給食のアレルギー対応と給食指導
- あやめ池小学校改築事業の概要と住民への安全対策
- 第１回珠光茶会の結果と、平成26年度の取り組み

厚生消防分科会

- 老春手帳優遇措置事業費の減額理由と今後
- ポイントカード制度の高齢者福祉制度としての特化
- 老春手帳入浴サービスの激変
- 障害者相談支援事業所サポート事業の具体的な内容
- 自殺者対策緊急強化事業
- 成人保健事業の子宮頸がんワクチン予防接種
- 小規模保育事業（閉園する佐紀幼稚園の改修後）

総務分科会

- 新年度予算の収支不足解消策としての公債費・一時借入金の縮減と効果
- 政策キャラバンコンテストの25年度受賞作の取り扱いと今後
- 情報システム最適化による行政の効率化と市民サービスの向上
- 25年度新規事業の執行状況と実現可能性の精査

市民環境分科会

- 新年度のクリーンセンター建設計画策定事業経費
- 太陽光発電普及啓発事業の新年度目標とＮＡＲＡ　ＮＥＸＴ４との整合性
- 市ホームタウンスポーツ推進パートナー事業の目的
- 帰宅困難者対策の越境訓練の目的と検証事項
- ボランティア活動ポイント制と老春手帳優遇措置事業
- イクメンハンドブックの配布方法と周知方法
- 市立看護専門学校の今後の運営

建設分科会

- 上下水道統合による組織再編
- 橋梁長寿命化修繕計画に基づいた新年度の予算内訳と今後の取り組み
- 市営住宅の空き家改修と募集状況
- 生活路線バスの今後の安定的な確保
- 新年度の通学路緊急合同点検とその後の危険箇所の補修関連予算
- （仮称）奈良インターチェンジ周辺でのＪＲ新駅設置構想に対する市の考え
- 菖蒲池２号踏切の拡幅・安全対策

第１回　議会報告会

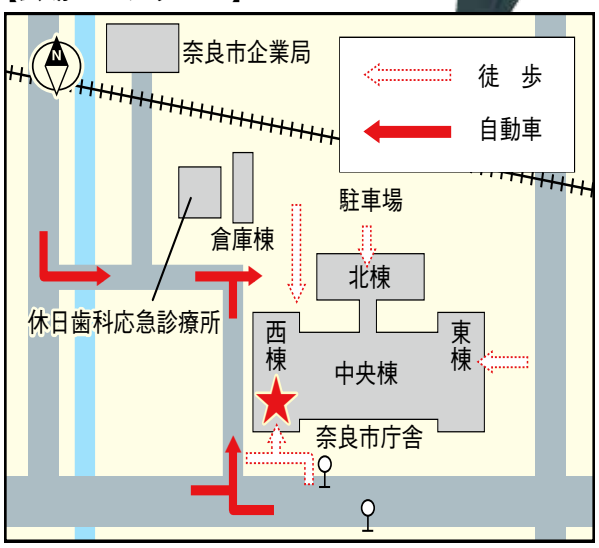
【日時】　平成26年５月16日（金）
午後７時～８時30分

【場所】　市役所西棟３階大会議室

※市役所駐車場をご利用いただけますが、混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。最寄りのバス停は『奈良市庁前』です。

※夜間の開庁となりますので、入口が限定されます。看板等掲示する予定ですが、ホームページなどもご覧になってお越しください。

【会場へのアクセス】



【内容】　第１部：議会報告
（３月定例会の概要）

第２部：意見交換
（議会報告に対する質疑）

議案等の審議結果とその賛否

○：賛成　×：反対　－：欠席

件名		採決結果	会派名（一部略称）					無所属			
			奈良未来	自由民主党	日本共産党	公明党	改革新政会	柿本元気	酒井孝江	上原雋	松石聖一
◆議案											
予算	平成26年度一般会計予算	可決	○	○	×	○	○	×	○	○	×
	平成26年度駐車場事業特別会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	平成26年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	平成26年度水道事業会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	平成26年度都祁水道事業会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	平成26年度月ヶ瀬簡易水道事業会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	平成26年度下水道事業会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○
条例	市一般職の職員の給与に関する条例及び市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	市職員の退職手当に関する条例の一部改正	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行条例の一部改正	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	市立診療所設置条例の一部改正	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	市立診療所諸料金条例の一部改正	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	市立高等学校及び幼稚園における授業料等に関する条例の一部を改正する等の条例の制定	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	×
◆議会議案											
市議会委員会条例の一部改正		可決	全会一致								
市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の額並びにその支給に関する条例の一部改正		可決	全会一致								
◆議会選挙											
奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙		得票数　廣井洋司氏32票　竹森　衛氏7票（3月26日廣井氏当選）									
神野山組合議会議員の補欠選挙		指名推選により、髙倉榮喜男氏（下深川町）当選									
◆動議											
平成26年度一般会計予算の組み替えを求める動議		否決	×	×	○	×	×	○	×	×	○
ウイルス性肝炎（肝硬変・肝がん）への医療費助成の拡充等を求める意見書		可決	全会一致								
容器包装リサイクル法の改正、発生抑制と再使用を促進するための法律制定を求める意見書		可決	全会一致								

※市長提出議案で全会一致したものを省略しています。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

（会派所属議員名）

会派名	議員数	所属議員名
奈良未来の会	8	森田　一成　松下　幸治　道端　孝治　今西　正延　鍵田美智子　浅川　仁　三浦　敦次　中西吉日出
自由民主党奈良市議会議員団	8	植村　佳史　太田　晃司　八尾　俊宏　山本　憲宥　東久保耕也　北　良晃　土田　敏朗　松田　末作
日本共産党奈良市会議員団	7	北村　拓哉　山本　直子　白川健太郎　小川　正一　井上　昌弘　松岡　克彦　山口　裕司
公明党奈良市議会議員団	7	山中　益敏　九里　雄二　藤田　幸代　宮池　明　伊藤　剛　森岡　弘之　高杉美根子
改革新政会	5	山口　誠　階戸　幸一　横井　雄一　内藤　智司　松村　和夫

印刷：関西美術印刷株式会社